

2018 年 7 月 吉日

お客様各位

アルミニウム製ベントキャップの変色について

伊藤鉄工株式会社  
埼玉県川口市元郷 3-22-23

標記の件に関する見解をご報告申し上げます。

### 記

アルミニウム製ベントキャップの材質は、日本鋳鉄ふた・排水器具工業会規格(JCW-205<sup>-2012</sup>)で採用されている JISH5202:2010 AC7A を採用しております。

AC7A は日光や雨に含まれる酸により、施工直後から 1～数か月で変色します。これはアルミの表面がこれ以上腐食しないように酸化し、自然皮膜(酸化被膜)を生成するためです。

特にAC7Aは耐食性に優れているという特性を持つため、アルミニウムの中でも、表面に酸化皮膜が形成しやすい材質です。

この変色(酸化皮膜の生成)の速度は設置環境などによって異なります。そのため、製品の部位や個体によって変色の程度が異なる現象が発生いたします。

上記のとおり、アルミニウム製ベントキャップは変色しても製品の性能に問題はございません。以上ご理解のほど、お願い申し上げます。

#### ● 変色が気になるお客様へ

弊社では、変色を抑える方法としてアルマイト処理(表面に酸化皮膜を生成させる処理)による対応を承っております(別途費用)。

変色対策を希望される方は、弊社営業部までお問い合わせください。

(TEL:048-224-3986)

以上